



日本臨床発達心理士会茨城支部

令和2年度第2回公開講座/第2回資格更新研修会（申請中）

コロナ対策のため ZOOM でのオンラインで研修会を実施します！

## 《発達障害とマルトリートメント

—教育虐待を含む—》

講師 宮本 信也 先生

筑波大学名誉教授

白百合女子大学教授，副学長

2021年2月7日（日）13時30分～16時30分

- ◆申込み 日本臨床発達心理士会茨城支部ホームページより事前申し込みが必要です
- ◆申込み期間 2021年1月5日(火)～1月20日(水)
- ◆募集人数 95名 先着順

詳細をホームページにてご確認の上，ホームページよりお申込みください。

ホームページ <http://ibarakisibu.jp>

本公開講座は，日本臨床発達心理士会資格更新研修会（1ポイント）を兼ねております。

- ◆受講料 1,000円 \*受講確認メール受信後に指定口座へ振り込み、手数料自己負担
- ◆Zoomへの事前登録 接続にはZoomへの事前登録が必要です。受講料振込確認後に事前登録依頼メールを送付します。
- ◆後援 茨城県，茨城県教育委員会（申請中）
- ◆企画趣旨

発達行動小児科学，子ども虐待への対応が専門である宮本信也先生に，「発達障害とマルトリートメント—教育虐待を含む—」というテーマで講演をいただきます。

自閉スペクトラム症（ASD），注意欠如/多動症（AD/HD），限局性学習症（SLD）などの発達障害のある子どもたちは，マルトリートメントを受ける危険性が高いと言われます。その要因として，障害特性により，子育てに多くの負担がかかる，周囲の理解や援助が受けにくいといったことがあります。また家庭や教育現場での，成績不良に対する過度の叱責，叱りながら行う教育，年齢や能力，学習スタイルに合わない教育内容の強制等もマルトリートメントです。

あらためて発達障害にどのような特性があるのか，そしてその特性とマルトリートメントのリスクがどのように関係をしているのか，またリスクを減らしていくためには，どのような援助が必要であるのかについて，コロナ禍での影響等も含め，幅広くお話をいただきます。

皆様のご参加をお待ちしています。